

# RYOWA RIEPORT

株式会社テクノ菱和 株主通信vol.30 第66期 業績のご報告 [平成26年4月1日～平成27年3月31日]

|                |   |
|----------------|---|
| ごあいさつ・トップメッセージ | 1 |
| 施工実績           | 4 |
| テクノ菱和の技術の紹介    | 5 |
| 連結財務情報         | 7 |
| 会社概要 / 株式の状況   | 9 |

空気のテクノロジー

株式会社 **テクノ菱和** 証券コード 1965

## ごあいさつ

株主のみなさまには、平素より格別なるご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。  
私は本年4月に代表取締役社長に就任いたしました黒田英彦でございます。  
今後、一層の社業の発展に尽力する所存でありますので、何卒ご支援、ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

さてこのたび、テクノ菱和グループは、第66期(平成26年4月1日から平成27年3月31日)決算が終了いたしましたので、ここにご報告申し上げます。

株式会社テクノ菱和  
代表取締役社長

黒田英彦  
Hidehiko Kuroda



## トップメッセージ

### Q 当期の業績はいかがでしたか？

A 当期は「チャレンジ」をキーワードに掲げ、増加傾向の需要を確実に取り込むため、ライフサイクル一貫ソリューションビジネス体制にて積極的な提案営業やお客様へのきめ細やかなサービスの提供を推進してまいりました。また、今後拡大が期待される先端医療分野や冷凍・冷蔵施設を含む流通分野への営業活動を強化するなどの施策を展開してまいりました。

その結果、特に大型医薬関連施設や食品関連施設の受注が好調だったことに加え、前期から繰り越した手持工事

の増加により、売上高は前期と比べ増加いたしました。利益についても前期実績を上回り、中期3か年事業計画の最終年度目標値を達成する結果となりました。

|       | 当期 (百万円) | 前期 (百万円) |
|-------|----------|----------|
| 受注高   | 57,934   | 55,414   |
| 売上高   | 54,168   | 49,108   |
| 営業利益  | 2,068    | 1,342    |
| 経常利益  | 2,368    | 1,507    |
| 当期純利益 | 1,284    | 662      |

### Q 中長期的な経営戦略について教えてください。

A このような状況の中、来期から平成35年度までを見据えた「中長期経営ビジョン2023」を新たに策定いたしました。これは平成32年に開催される東京オリンピック・パラリンピック後の建設市場の縮小が懸念される中で、長期的な経営方針を確立し、市場のニーズを的確に汲

み取って安定的な収益の確保を目指そうというものです。

また、従来通り、来期をスタートとする新たな「中期3か年事業計画」(平成27年4月から平成30年3月まで)を策定いたしました。中長期経営ビジョンの実現に向けて、中期的な経営戦略を明確化し、具体的な施策を展開してまいります。

## 中長期経営ビジョン2023

### ✓ 中長期的に当社グループが目指すもの

2023年(第75期)までに**連結売上高650億円**  
**経常利益26億円**を達成し**ROE5%以上**を目指す

※ROE(自己資本利益率) = 当期純利益 ÷ 自己資本 × 100

#### ～「中長期経営ビジョン2023」の基本方針～

- ①規模の拡大だけに捉われず、当社で培った特色のある技術を駆使した事業展開を目指す
- ②継続的に成長するためお客様への付加価値を向上させ、リピート率の高い経営基盤を確立する
- ③ASEAN市場を収益源の一つとして認識し、ターゲットを絞った市場へ積極的に投資する
- ④一人ひとりの社員を輝き成長させるための社員教育と、採用を含め人的資源へ継続的に投資する

## 中期3か年事業計画 2015年度(第67期)～2017年度(第69期)

### 最終年度2017年度(第69期)数値目標

|            | 単体ベース  | 連結ベース  |
|------------|--------|--------|
| 1 総売上高     | 570億円  | 620億円  |
| 2 経常利益     | 22.5億円 | 24.5億円 |
| 3 1人当たり売上高 | 79百万円  |        |
| 1人当たり経常利益  | 3百万円   |        |
| 人員         | 725人   |        |

#### ～「中期3か年事業計画」の基本方針～

- ①成長が顕著な医薬品製造分野を中心に、提案型営業を増やし産業設備分野のシェア拡大を目指す
- ②客先との関係強化を目的として、ライフサイクル一貫ソリューションビジネスを進め対象のお客様を増やす
- ③インドネシアでの経営を安定させ、更にミャンマーへの事業展開を図る
- ④ICT&モバイルを積極的に活用し業務改善を行うとともに、社員教育を充実させ企業競争力強化を図る
- ⑤品質システム(ISO9001)を全社統一し、環境システム(ISO14001)を融合させ、業務効率を上げる

## Q 来期の方針を教えてください。

A 来期は中期3か年事業計画の初年度となる重要な1年となります。目標達成に向けて、各部門が原点に立ち返って本来の役割を全うするとともに、新たな施策にも取り組んでいかなければなりません。

具体的には、従来から得意とする設備改善、リニューアル工事の需要を確実に取り込むため、引き続きライフサイクル一貫ソリューションビジネスを推進するとともに、成長の著しい医薬関連分野への営業活動を強化するため社内プロジェクトを立ち上げ、受注拡大に取り組んでまいります。また、国内建設市場の縮小に備え、東南アジア地域への事業展開を図るとともに、社員教育の充実による企業競争力強化など将来へ向けての事業基盤の強化にも努めてまいります。

## Q 来期の見通しを教えてください。

A 来期の経済は、企業業績の改善から良好な雇用環境や堅調な個人消費が見込まれ、回復基調は継続されるものと予想されます。しかしながら、建設業界におきましては、設備投資の増加は期待できるものの、公共投資の減少傾向は継続しており、建築資材の高騰や作業員不足による労務費の高止まりが改善されていないため、予断を許さない状況が続くものと考えられます。

来期の連結業績見通しにつきましては、売上高は、手持

工事の増加や堅調な受注により増加する見込みですが、利益については、当期と同程度を見込んでおります。

|       | 来期予想 (百万円) |
|-------|------------|
| 受注高   | 59,000     |
| 売上高   | 58,000     |
| 営業利益  | 2,100      |
| 経常利益  | 2,240      |
| 当期純利益 | 1,340      |

## Q 株主のみなさまへのメッセージをお願いします。

A 当社グループは、CSRを重視した経営を実践しており、コンプライアンスの徹底を図り、確実に安全・品質を確保することがお客様からの更なる信頼獲得につながるものと考えております。このように、CSR経営を持続的成長に結びつけて事業基盤の強化を目指してまいります。

当期の期末配当金につきましては、業績ならびに今後の事業展開等を勘案いたしました結果、1株につき8円50銭とし、年間では前期より3円増配となる1株につき15円とさせていただきます。

当社グループのより一層の発展に向けて全力で取り組んでいく所存でございますので、株主のみなさまにおかれましては、今後ともご指導賜りますようお願い申し上げます。

## 施工実績

### 三波食品株式会社水産加工センター



本物件は、塩釜漁港の海沿いに立地する水産加工品製造工場で、東日本大震災により被災した本社社屋・工場を新築復旧したものです。空調設備には「屋外一体型ヒートポンプ外気処理空調機+マルチユニットクーラー」が採用されており、衛生設備には排水除害処理施設も併設されています。

| 概要   |              |
|------|--------------|
| 竣工年月 | 2014年6月      |
| 施工地  | 宮城県塩釜市       |
| 建物用途 | 食品工場         |
| 延床面積 | 3,109.04㎡    |
| 物件形態 | 地上2階         |
| 工事範囲 | 空調・衛生・生産設備工事 |



### JNC株式会社リクソン第2センター



本物件は、環境に優しい液晶材料の安定供給を実現するため、液晶製造器具の洗浄と、液晶ブレンド設備の拡張を目的として建設されました。目的に応じて、清浄区域、高清浄区域、低温庫等の環境が必要とされており、それぞれに適した空調換気設備を備えています。主な空調方式としては、「モジュールクーラー+外調機・空調機方式」が採用されています。

| 概要   |            |
|------|------------|
| 竣工年月 | 2014年12月   |
| 施工地  | 千葉県市原市     |
| 建物用途 | 液晶製造器具洗浄施設 |
| 延床面積 | 9,058.33㎡  |
| 物件形態 | 地上6階       |
| 工事範囲 | 空調・衛生設備工事  |

### イオンモール京都桂川



本物件は、最寄り駅からほど近く、交通アクセスに恵まれた京都最大級のイオンモールです。大型ショッピングモールとして店舗・シネマからなるモール棟、立体駐車場棟、フィットネス棟で構成されています。空調設備としては空調方式/外調機、FCU、空冷HP PAC熱源/空冷ヒートポンプクーラーが採用されています。

| 概要   |             |
|------|-------------|
| 竣工年月 | 2014年10月    |
| 施工地  | 京都府京都市      |
| 建物用途 | 商業施設        |
| 延床面積 | 214,098.15㎡ |
| 物件形態 | 地上4階        |
| 工事範囲 | 空調設備工事      |

### 日本原子力研究開発機構 本部 総合管理棟



本物件は、国立研究開発法人日本原子力研究開発機構の本部施設として、本館・別館・車庫・資機材庫の4つの建物で構成されており、各所に分散されていた本部の機能を一か所に集約させています。また災害等の発生時に迅速かつ円滑な緊急時対応を図るため、耐震性が高く、非常用発電機等の設備を有する建物となっています。

| 概要   |           |
|------|-----------|
| 竣工年月 | 2015年3月   |
| 施工地  | 茨城県那珂郡東海村 |
| 建物用途 | 事務所       |
| 延床面積 | 8,933.29㎡ |
| 物件形態 | 地上2階      |
| 工事範囲 | 機械設備工事    |



# テクノ菱和の技術の紹介

Vol.08

クリーンな空間、省エネルギーなどの環境問題、きれいな水づくり…

テクノ菱和の技術はあらゆる所で活躍しています。

そんな「環境のトータルエンジニアリング」企業である

私たちテクノ菱和の技術をみなさまにご紹介いたします。

Check!



## 触媒劣化を抑制

室内循環型ホルムアルデヒド常温酸化分解装置「FOTRAM(フォトラム)」を改良中です。

当社は、ホルムアルデヒドを簡単に無害化する「FOTRAM(フォトラム)」の改良に取り組んでおります。

### ☆FOTRAM(フォトラム)って何?

FOTRAM(フォトラム)は、室内に設置し燻蒸後の空気を循環させ、触媒を用いてホルムアルデヒドを常温で酸化分解し無害化するコンパクトな装置です。当社が開発し2000年より提供しております。

医薬品製造施設や実験動物飼育施設などでは、室内を殺菌するためホルムアルデヒドガスによる燻蒸が行われています。このホルムアルデヒドは人体に有害なため、濃度が一定値以下になるまで室内での作業ができません。そのため燻蒸後のホルムアルデヒドを無害化処理し排出することが必要とされてきました。従来は大規模な専用の固定設備やアンモニアを利用した中和設備などで処理されており、経済性や副生成物の発生、臭気発生等の問題がありました。FOTRAM(フォトラム)によりこれらの問題を解消できました。

### ☆どうして改良しているの?

ホルムアルデヒドを発生させる物質としては、パラホルムアルデヒド(ホルムアルデヒドの固体)とホルマリン(安定剤としてメタノールを加えたホルムアルデヒドの水溶液)があります。医療施設や医薬品製造施設などではホルマリンを使用することも多く、FOTRAM(フォトラム)触媒へ徐々にメタノールが付着し酸化分解処理能力がダウンするという問題がありました。このため、ホルマリン使用施設ではFOTRAM(フォトラム)を推奨できませんでした。

### ☆改良版の特長は?

改良版は、FOTRAM(フォトラム)本体に追加装備した触媒のリフレッシュ機能(ヒーターによる加熱機能)により、触媒に付着したメタノールの脱着分解を促進させて酸化分解処理能力を長時間維持することができます。このため本格的な再生処理を少なくすることができ、使い勝手、コスト面で有利となります。

今後は研究所内での実験設備を利用して検証を行っていく予定です。



現行の標準FOTRAM

## News!

### クリーンルーム用イオナイザー向けの新電極を開発いたしました。

当社は、クリーンルーム用イオナイザーに適した新しい電極を開発いたしました。

#### イオナイザーって何?

静電気防止方法の一つに、帯電した物体をイオンで中和して除電する方法があります。そのイオンを発生させる装置がイオナイザーです。



低発塵・シースエア式パルスACイオナイザー

#### どうしてクリーンルームに必要なの?

クリーンルーム内は空気中のホコリや微粒子をシャットアウトした空間です。半導体や液晶製造クリーンルームでは、静電気による製品(ウェハ、ガラス基板等)への異物の付着や素子の静電破壊等も問題となり、イオナイザー等による静電気防止対策が取られてきました。

イオナイザーは針状の電極に高電圧をかけて放電させるコロナ放電式イオナイザーが多く使われていますが、電極の磨耗等による金属汚染の発生が問題となり、当社では電極磨耗がほとんどなく金属汚染量の微量なX-Material電極(ニッケルメッキ電極)を開発し使用しておりました。

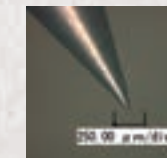
しかし、最近では許容される金属汚染量も低下してきましたので、更に電極磨耗が少なく金属汚染量が極微量な新しい電極、I-Material電極(イリジウムメッキ電極)とR-Material電極(ロジウムメッキ電極)の2種類を開発いたしました。

#### 新電極の特長は?

I-Material電極の金属汚染量はX-Material電極のおよそ1/100です。また、R-Material電極の金属汚染量はX-Material電極の1/100以下です。

#### ●各電極の長期耐久試験結果(正極、倍率200倍)

従来電極

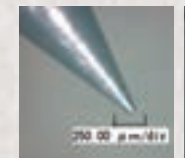


(a)未使用



(b)約1年経過後

R-Material 電極



(a)未使用



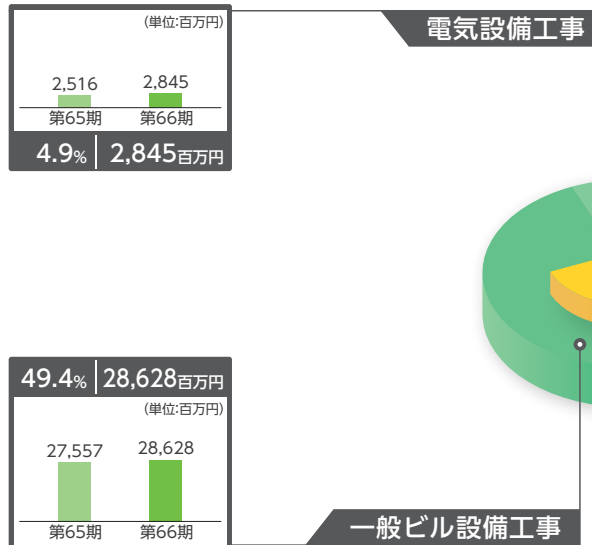
(b)約1年経過後

|                                     |                                     |                                   |                                 |
|-------------------------------------|-------------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------|
| <b>受注高</b>                          | <b>売上高</b>                          | <b>経常利益</b>                       | <b>当期純利益</b>                    |
| <b>57,934</b> 百万円<br>＜前期 55,414百万円＞ | <b>54,168</b> 百万円<br>＜前期 49,108百万円＞ | <b>2,368</b> 百万円<br>＜前期 1,507百万円＞ | <b>1,284</b> 百万円<br>＜前期 662百万円＞ |

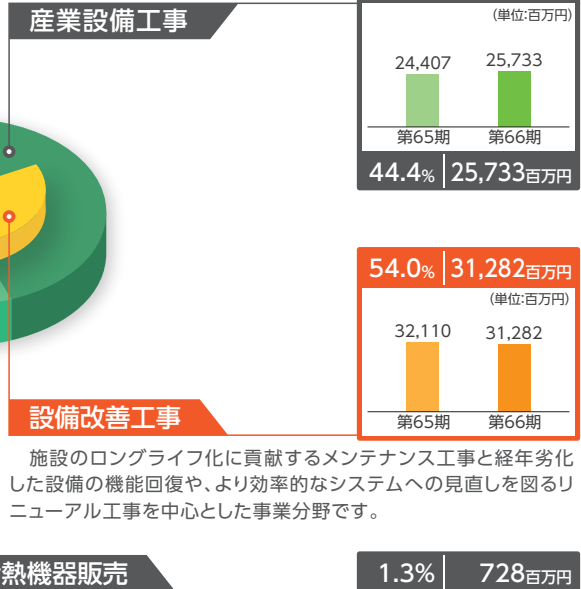
受注高構成比

連結子会社の松浦電機システム株式会社が、発電設備、太陽光発電やLED照明などの省エネルギー技術の提案・施工・メンテナンスを実施しております。

当期は、企業の生産活動の持ち直しに伴い、設備投資に回復の兆しが見え始め、大型医薬関連施設や食品関連施設の受注が好調でした。今後は、医薬関連プロジェクトを立ち上げ、医薬関連の受注シェアを更に伸ばすとともに、ライフサイクル一貫ソリューションビジネス体制の推進により、お客様との関係強化を進めてまいります。

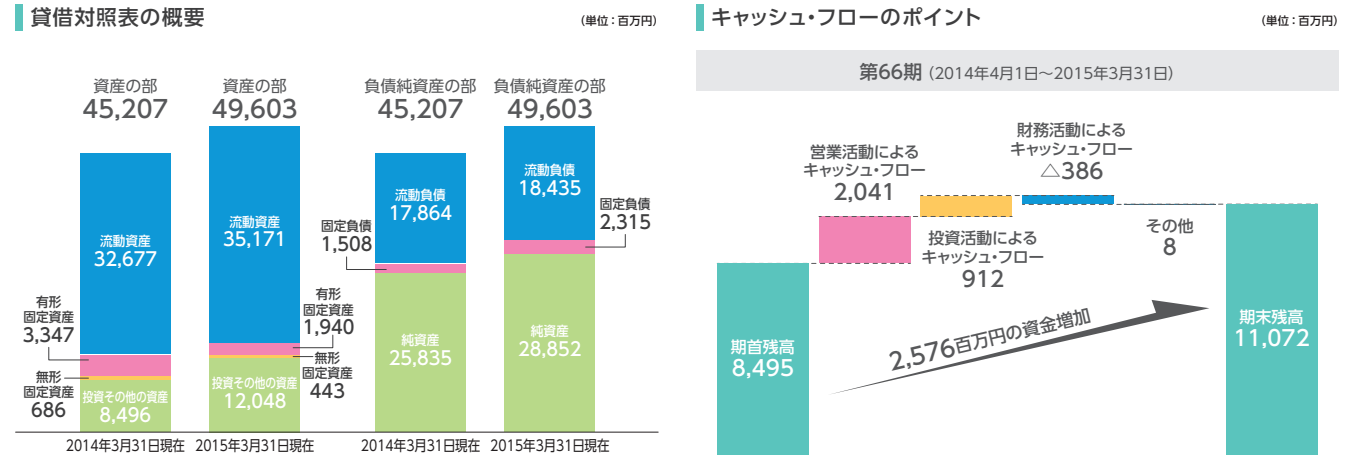
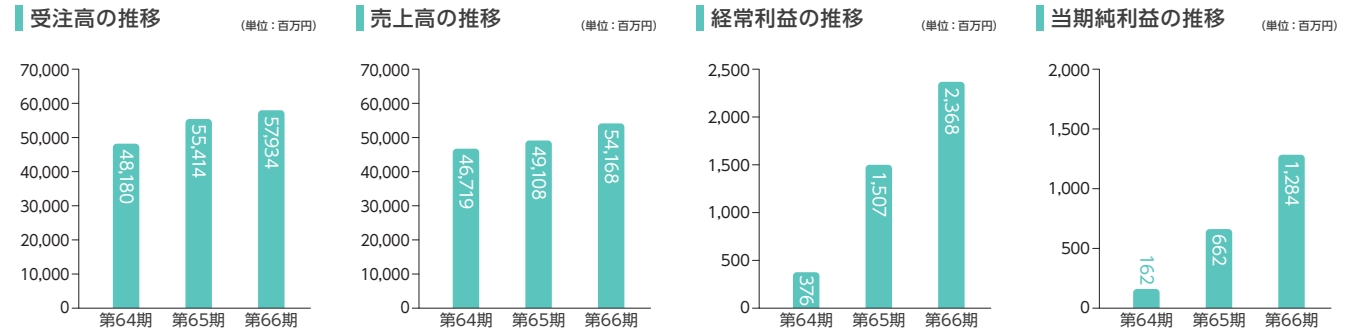


当期は、医療施設・公共施設・オフィスビル等の受注が堅調に推移したため、受注高は前期と比べ増加いたしました。今後も東京オリンピック・パラリンピックまでの官民双方の設備投資需要を確実に取り込んでまいります。



設備工事に関する空調機器等の販売を行っております。

**冷熱機器販売** 1.3% | 728百万円



財務のポイント

**資産の部** 流動資産における現金及び預金の増加25億円、固定資産における投資有価証券の増加21億円、土地の減少13億円を主な変動として、資産合計は前期末と比較して43億円増加し、496億円となりました。

**負債の部** 流動負債における未払法人税等の増加3億円、固定負債における繰延税金負債の増加9億円を主な変動として、負債合計は、前期末と比較して13億円増加し、207億円となりました。

**純資産の部** 利益剰余金の増加8億円、その他有価証券評価差額金の増加14億円を主な変動として、純資産合計は30億円増加し、288億円となり、自己資本比率は、前期末比1.1ポイント上昇し、58.2%となりました。

**キャッシュ・フロー** 税金等調整前当期純利益の計上による資金増加23億円、有形固定資産の売却による資金増加13億円を主な変動として、現金及び現金同等物は、前期末と比較して25億円増加し、110億円となりました。

詳しい情報はウェブサイトへ



テクノ菱和 検索

# 会社概要／株式の状況

## 会社概要 (平成27年3月31日現在)

商号 株式会社テクノ菱和  
(英文表記 TECHNO RYOWA LTD.)  
設立 昭和24年12月23日  
資本金 2,746,800,000円  
上場 東京証券取引所市場第二部  
従業員 648名 (連結755名)  
本社 東京都豊島区南大塚2丁目26番20号  
登記上の所在地 東京都港区芝大門2丁目12番8号

主な事業所 技術開発研究所(東京都世田谷区)  
東京本店(東京都豊島区)  
千葉支店(千葉県千葉市)  
茨城支店(茨城県土浦市)  
北関東支店(埼玉県さいたま市)  
東北支店(宮城県仙台市)  
横浜支店(神奈川県横浜市)  
名古屋支店(愛知県名古屋市)  
静岡支店(静岡県静岡市)  
大阪支店(大阪府大阪市)  
中国支店(岡山県倉敷市)  
九州支店(福岡県福岡市)  
海外事業部(東京都豊島区)

## 役員 (平成27年6月26日現在)

|         |        |     |        |         |        |
|---------|--------|-----|--------|---------|--------|
| 取締役会長   | 阿部 捷 司 | 取締役 | 根岸 孝 雄 | 取締役     | 福士 富 三 |
| 代表取締役社長 | 黒田 英 彦 | 取締役 | 鈴木 孝 孝 | 常勤監査役   | 岡田 秀 司 |
| 常務取締役   | 飯田 亮 輔 | 取締役 | 星野 宏 一 | 監査役(社外) | 横山 真 次 |
| 常務取締役   | 知見 扶 公 | 取締役 | 黒田 長 憲 | 監査役(社外) | 林 健 一郎 |
| 取締役(社外) | 楠本 馨   | 取締役 | 達 和 敏  |         |        |
| 取締役     | 松橋 秀 明 | 取締役 | 加藤 雅 也 |         |        |

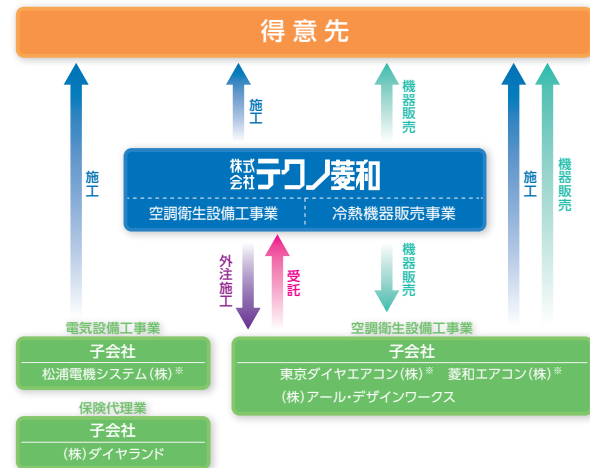
### 事業内容

当社グループは、産業用空調、冷暖房、給排水、衛生、電気設備等の設計・施工管理といった設備工事業ならびにそれらに付帯する業務を行っております。お客様のビジョンの実現に向けた計画提案、設計、施工、設備診断、アフターメンテナンスといったワンストップサービスを通じて、お客様を総合的にサポートしてまいります。

- 産業設備関連事業**  
清浄空間を必要とする各種製造工場や研究施設等における空調衛生設備工事を行っております。
- 一般ビル設備関連事業**  
事務所、学校および病院等の一般建物における空調衛生設備工事を行っております。
- 冷熱機器販売事業**  
設備工事に付帯する空調機などを販売しております。
- 電気設備工事業**  
松浦電機システム株式会社にて、電気設備工事を行っております。
- 太陽光発電事業**  
太陽光発電による電力を売電する事業を行っております。
- 不動産賃貸事業**  
菱和エアコン株式会社にて、不動産の賃貸業を行っております。
- 保険代理事業**  
株式会社ダイヤランドにて、保険代理業を営んでおります。

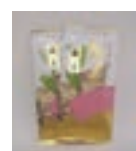
## 企業集団の状況 ※連結子会社

|   |   |
|---|---|
| <b>東京ダイヤエアコン株式会社*</b><br>所在地 東京都新宿区<br>主要な事業の内容 空調衛生設備工事業 | <b>株式会社アール・デザインワークス</b><br>所在地 大阪府大阪市<br>主要な事業の内容 空調衛生設備工事業 |
| <b>菱和エアコン株式会社*</b><br>所在地 愛知県名古屋市中区<br>主要な事業の内容 空調衛生設備工事業 | <b>株式会社ダイヤランド</b><br>所在地 東京都港区<br>主要な事業の内容 保険代理業            |
| <b>松浦電機システム株式会社*</b><br>所在地 大阪府守口市<br>主要な事業の内容 電気設備工事業    |   |



### 株主優待制度のお知らせ

当社株式を決算期末日に100株以上ご所有の株主様に静岡の新茶をプレゼントいたします。



ご優待内容

|                      |             |
|----------------------|-------------|
| ご所有株式数1,000株以上       | 静岡の新茶2パック贈呈 |
| ご所有株式数100株以上1,000株未満 | 静岡の新茶1パック贈呈 |

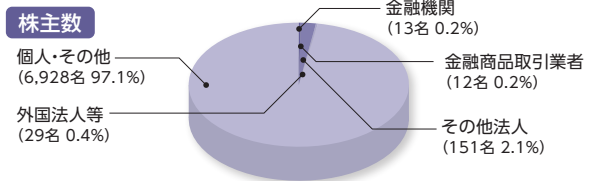
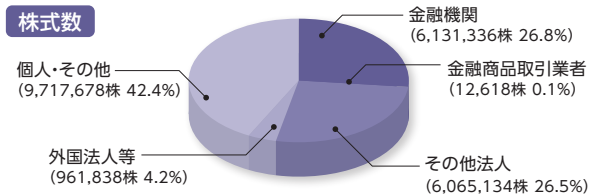
## 株式の状況

発行済株式の総数 22,888,604株  
当期末現在の株主総数 7,133名

## 大株主

| 株主名            | 持株数(千株) | 持株比率(%) |
|----------------|---------|---------|
| テクノ菱和取引先持株会    | 2,187   | 9.5     |
| 三菱重工株式会社       | 1,424   | 6.2     |
| 株式会社三菱東京UFJ銀行  | 1,131   | 4.9     |
| 株式会社みずほ銀行      | 1,131   | 4.9     |
| 東京海上日動火災保険株式会社 | 906     | 3.9     |
| 株式会社名古屋銀行      | 738     | 3.2     |
| 明治安田生命保険相互会社   | 734     | 3.2     |
| 株式会社京業銀行       | 723     | 3.1     |
| テクノ菱和従業員持株会    | 692     | 3.0     |
| 近重 次郎          | 672     | 2.9     |

## 株式の分布状況



## 株主メモ

事業年度 4月1日から翌年の3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

基準日 定時株主総会 3月31日  
期末配当金 3月31日  
中間配当金 9月30日

株主名簿管理人および  
特別口座管理機関 東京都千代田区丸の内1丁目4番5号  
三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号  
TEL 0120-232-711 (通話料無料)

単元株式数 100株

公告掲載URL <http://www.techno-ryowa.co.jp/>  
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。)

諸手続き  
お問い合わせ先 【住所変更、買取請求その他各種お手続きについて】

- 証券会社をご利用の株主様  
お取引の証券会社等にお問い合わせ下さい。
- 特別口座に記録された株式をご所有の株主様  
特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお問い合わせ下さい。

【未受領の配当金について】  
未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

### 特別口座をご使用の株主様へ お早めに株式をお振替え下さい

特別口座に記録されている株式は、証券市場での売買を行うことができません（単元未満株式は除く）。また、特別口座で管理されている株式は相続や贈与時のお手続きが煩雑になってしまいます。

ご所有の株式が特別口座に記録されている場合は、証券会社等に一般口座を開設し、特別口座から株式をお早めにお振替え下さい。詳しいお手続きにつきましては三菱UFJ信託銀行にお問い合わせ下さい。

|         |  |
|---------|--|
| お手続き    | 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部                                  |
| お問い合わせ先 | 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 TEL:0120-232-711 (通話料無料) |

株式会社 **テクノ菱和**

<http://www.techno-ryowa.co.jp/>

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2丁目26番20号

お問い合わせ TEL : 03-5978-2541



環境に優しい植物油インキ  
を使用して印刷しています。

UD  
FONT

